

第 3 検討部会 会議録

会議の名称	第 21 回 第 3 検討部会
開催日時	平成 20 年 8 月 1 日 (金) 午後 18 時 30 分から 20 時 50 分
開催場所	川口市職員会館 講座室 B
出席者	(部会長) 佐藤副委員長 (委員) 松本委員、阿部委員、浅羽委員、伊田(清)委員、鈴木委員、森委員
会議内容	・広報・PI チームの検討結果について ・編集委員会の検討結果について
会議資料	・第 6 回運営調整部会資料
発言内容	<p>1. 広報・PI チームの検討結果について (伊田委員より市民フォーラム、対話集会開催についての報告) (運営調整部会資料 No.1 を使用)</p> <p>【討議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知・PI を検討して欲しい。 当初、広報・PI チームが考えた案の中には、市民への広報等と合わせて職員への広報等も出ていたので、今後の広報・PI チーム会議で検討していきたい。 <p>2. 編集委員会の検討結果について (森委員、佐藤部会長、鈴木委員より経過の報告) (運営調整部会資料 No.2 を使用)</p> <p>【討議】</p> <p>1. 素々案について</p> <p>1) 前文について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森委員の前文はどのように反映されたのか。 第一検討部会が検討することになった。提案の文章に、例えば「キューポラの火は未だ消えることなく～」など少しずつ盛り込まれている。 ・分量が多いのではないか。 ・読むのに時間がかかる。市民がこれを読むことを考えると長すぎる。歴史的背景に触れるだけでよいのではないか。現状をどこまで書くべきなのか。歴史を踏まえて将来よい街にしていこうというのが前文ではないか。 ・基本的にはこの前文を公開するとしても、色々な意見があるということ

は付記した上ですべきではないか。

- ・完成された案に対して修正提案が中々受け入れられない状況がある。
- ・多少スケジュールが押してでも部会の意見をしっかり踏まえるべきではないか。議論を封殺するのであれば、投票で十分ではないか。

2) 名称について

- ・「自治」という言葉を入れるか入れないか
- ・「まちづくり」というひらがなを入れるとハード面のまちづくりの感じがする。
- ・最高規範性を持たせるのが重要である。裁判になった場合には、その他の条例と同列の扱いである。ただ、市民の中での位置づけとして最高規範である点は示したい。最高規範条例や最高条例ではどうか。

3) 総則について

- ・「自治の基本理念に則り」を除くことにしてはどうか。

4) 「定義」について

市民の定義

- ・市民の定義については、全ての内容を盛り込もうとすると收拾がつかない。
- ・市民とは、「自然人」のみでは疑問がある。「法人」は、市民の定義の中に出てくるのは違和感がある。
- ・全体を踏まえた上で、市民の定義を最後に振り返るのがよいのではないか。現時点で厳密に定義したとしても今後齟齬が出る可能性がある。

自治の定義について

- ・自治とは、地域にとっての究極の姿である。
- ・自治を定義してしまうと意味する範囲が狭まるなど、デメリットが大きいのではないか。
- ・条例の名前を「自治基本条例」とした場合に、定義がなければ意味が通らない。
- ・定義するのであれば、やわらかく包括的なものとすべきではないか。

2. 各部会の素々案について

- ・完成度が高い案に検討が引っ張られる傾向にある。また完成度が高い案には流れがあり、個別具体の中身を検討しづらい状況である。

3. 今後の検討について

- ・完成度が高い案が優先される可能性がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・編集委員会では、出された意見を取り上げて議論しようとする姿勢がもっと必要ではないか。 <p>4．自治基本条例作成の全体運営に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民だけで全てを運営し決定しようとするのは非常に困難である。編集委員会の運営についても市民だけで進めるのは難しい。 ・市民の声を本当の意味で反映するためには、もっと意見をしっかり聞かなければならない。今後、各部会から流れのある綺麗な案が出来上がると思われる。洗練した案が5つ出てくるとすれば、それらを統合することは難しい。いずれかの案を選択することになると思われる。このままでは、選択の議論になり、内容の議論ができなくなる。各部会で検討した内容がほとんど反映されない部会も出てくる。このことによって、無関心な層が拡大するかもしれない。 ・すでに洗練された案を作成している部会もある。 ・第三検討部会としては、ネタは部会が作るけれども、とりまとめは事務局又はコンサルにお願いしたいが、その方法論は運営調整部会で採用されなかった。ただ、市民には条例をまとめたり全体を組み立てる技術はないというのが現状である。
<p>次回以降日程</p>	<p>第22回 8月19日(火)18:30~</p>